

学進会

夏期

講習会

令和6年度

説明書

~This place is your treasure.~

『過去の自分を超える夏』

中3は講座最後の模試で！

中1・2は2学期実力テストで！

中学1年生・2年生の保護者様と生徒諸君に

中1・2年生の夏期講座目標

中学1年生は

一学期末テストのリベンジと英語特訓

一学期期末テストで思ったように取れなかった科目や総合得点を、中学最初の実力テストでリベンジする！
昨年からとにかく難しくなった英語。中1の1学期の内容をしっかりと習得しておくことがこれから英語の勉強が得意になる秘訣。しっかり夏で1学期の復習を実施します。

中学2年生は

実力テストは難しい

忘れた1年生を夏期講座で取り戻せ！

範囲が広い本当の意味での初めての实力テストになる2学期最初の実力テスト。1年生の内容がすべてテスト範囲になり、この実力テストが中3の高校入試へとつながっていく。今習っていることだけでなく、以前習ったことの復習をしっかりとやる夏期講座です。

中学1年生・2年生の保護者様と生徒諸君に

どんな

夏期講座？

学進会の夏期講座



過去の自分を超えるために、

- ① 基礎学力の定着と応用問題への強化
- ② 学校の宿題を完了する
- ③ 実力テストに備えて模擬試験と対策

中学1年生・2年生の保護者様と生徒諸君に

基礎学力の定着と応用問題への強化

理・社は、毎回どちらかの授業があります。

一問一答のテストで基礎学力を定着し、応用問題にもチャレンジ！

テキストを使用してまんべんなく復習します。2年生は1年生の復習も行います！

英 文法総復習！

テキストを徹底的に解説します。繰り返し学習し今までの文法を完ぺきにしていきます。

学校が進まない夏に、もう一度わからなくなっているところまで戻って文法の復習ができる。

わからなかったところを文法の知識を埋めて一気に成績が上がる大チャンスです。

数 step1 **計算プリント** 当然、間違ったらやり直し！徹底的に鍛える。

Step2 **応用問題に取り組む**。夏の機会にじっくり取り組む！

国語は毎日文章を読むことで、語彙力が身につく、何より活字に慣れる！！

国 毎回必ず**読解の宿題**⇒採点チェックがあります。やってこない人は次回早出特訓です。

中学1年生・2年生の保護者様と生徒諸君に

※基礎学力の徹底習得が必要なわけ

中3の夏に志望校を決める時に子供たちはなにを気にしていると思いますか？将来なりたいもの？部活動？友達？答えは単純、その高校に入れるかどうかです。現在の点数で入れるか、今から頑張ったら入れるか？その差はあるにせよ、一番気になることは合格できるかどうかです。合格が困難な高校は、たとえ興味があってもなかなか受験しようとしません。もちろん、1・2年生のうちから確固たる決意のもと、意中の高校に合格すべく努力を重ねてくれたら、どんな高校でも合格します。しかしそういう生徒は少数です。高校を選ぶその時、自分の成績が高校選びの基準になるのです。自分の成績で入れるところから志望校にしていける。その時に今の成績で満足ですか？成績は上げておいて何一つ悪いことはないのです。夏期講座まずは成績の基礎を作ります。世の中の、成功したほとんどの人も、普通に暮らしている人も、みんな口をそろえて言います。何事も基礎が大事だと・・・。しっかりとした土台の上にはしか丈夫な家は建たない。そして、その土台作りは決して手を抜いてはいけません。

基礎作りは1・2年生の今のうちからやりましょう。基礎練習は退屈で、きついものです。一人ではなかなかできません。学進会の夏で徹底的にやらせていただきます。今回の目標である実力テストで過去の自分を超越するためにも必要ですし、作り上げた基礎の土台がいずれ来る3年生の夏、受験の基礎演習の成果を絶大にします。さらに、3年生の夏には鬼の6時間目なる基礎演習が待っています。その時に基礎演習を楽にこなしていく基礎演習の土台を1・2年生の時に作っている子供たちは成績上位高校に合格していきます。3年生の夏期講座説明前半部分も合わせてご覧ください。さらに、よくわかっていただけるものと思います。

※学校の夏休みの宿題=つまらない

そこで仮想通貨のご褒美で楽しく終わらせる！

来年度から公立高校の入試が大きく変わります。各高校が独自に調査書(学校の通知表)、入試の点数、面接の3つの中から配点配分を決めます。特別選抜という定員の一割から一割5分ていどの定員枠で、選抜します。調査書が5割のから8割と大変比重が大きいのが特徴です。多くの生徒が受験する一般選抜では、長崎工業の4割などの高い配分の高校もあれば長崎西や長商のように1割と割合が低い高校もあります。ですが、同じくらいの学力の生徒と競い合う高校入試です。調査書が良ければ大きなアドバンテージになることはまちがえありません。そのためには夏の宿題をしっかりと終わらせ提出する必要があります。しかし、子供たちにとって学校の宿題は最もやりたくないもの…できるだけ後に回して、最後に焦る。こんな夏の繰り返しです。つまらないから仕方ない？では、塾に来てもらっている意味がありません。子供たちが少しでも楽しく終わらせられるように、学進会では夏の宿題が一つ終わると先生からガバスといわれる夏期講座の景品交換会でつかえる仮想通貨がもらえます。交換は最初の10日間と、8月8日・22日・27日です。その日に終わった宿題をもって先生にチェックしてもらえばガバスがもらえます。同時にその日がこちらのチェック日にもなり作成したチェック一覧をもとに、進捗が遅い生徒は呼び出したりします。それを貯めて、8月27日に実施される夏のガバス景品交換会で豪華景品と引き換えることができます。なにか成し遂げたらいいことがあるという疑似成功体験を夏の宿題で仮想通貨を使って体験してもらうことも一つの狙いです。

今回の資料に公立高校の来年度入試の募集定員、科目、比重などを同封しておりますのでこちらもあわせてよくご覧ください。

中学1年生・2年生の保護者様と生徒諸君に

実力試験に備えて模擬試験と対策

※基礎学力は学習の武器⇒持っているだけでは意味がない

使い方を知らないと実力テストでは戦えない。

夏期講座で修得した基礎学力も途中でやらなくなるとみるみる落ちていきます。基礎学力は戦う武器のようなもの。持っているだけでは難しい問題には太刀打ちできない。そこで、学進会が集めた学校の実力テストの過去問や夏のテキストの中から、講師が選定してじっくりと解説していきます。武器の使い方を覚えるパートです。当然、学力で修得した武器も、使い方のうまい下手もありますから、習熟度別クラス分けによる授業になります。

ここで、しっかり実際の問題演習をすることで、夏期講座最後に実施する対外模試で実力を出し切れるようになります。さらに、学校の実力テスト対策へと続いていきます。

1・2年生の保護者様へ

個を大切に作る時代。もちろんとても素敵なことです。少子化が進み、私立高校では少人数指導がトレンドとなり、授業も全体に対する指導ではなく、それぞれの個に向かう。塾も一斉指導の塾はどんどん姿を消していき、個別指導の塾が主流となっています。そんな中、人が人と向かい合って接し、競い合う仲間を肌で感じながら切磋琢磨することが、子供たちの成長をもっとも促すことになると思います。私たちは一斉授業による指導を行っております。

みんなができることはAIやロボットがやる時代が来ます。わからないことはインターネットで調べたり、チャットGPTに聞けばすぐに情報が得られ、課題の解決方法はAIに考えてもらう。そんな時代が目の前です。今からの子供たちは自分自身にしかできないことを身に付けていく必要があると思います。多種多様な幅広い多くの知識を覚えるのではなく、専門的な分野の知識と理解を深め、独創性をもって新しいことにチャレンジしていく。そういうことが求められる時代になっていきそうです。長崎県公立高校入試に探究的な問題を2割は出題されるのもその流れの表れではないでしょうか。こう話すといかにもアイデア豊かにものを考える力こそが必要だと感じられますが、そもそもものを考えるためには知識がいります。そして、人間の脳には限りがあります。そこで、自分にとって必要な情報を取捨選択し、効率よく覚えていく必要があります。その練習が各教科の暗記部分になると考えています。ただ覚えるのではなく覚える工夫をすること、覚えていることを覚えなおす無駄を省くこと、一定時間以上覚えるという作業ができる態勢を身につくこと。英単語や理社の語句暗記を通じてそのような力を育ててまいります。そして、このような暗記は一人でやるとついつい怠けてしまいます。皆が一緒に頑張っているから自分もやれる。部活動のランニングもみんなとなら乗り切れるのと同じです。学進会の一斉授業が威力を発揮します。そして数学の計算を加えた基礎事項の上に応用問題や探究的な問題をテスト対策時や日々の授業の中で取り組み、考察力を鍛えていきます。授業中、講師陣が子供たちに質問を投げかけることが多いのは、子供たち自ら考える力を養ってほしいからです。

学進会では、子供たちがこれからの時代で活躍する力を、塾の授業を通じてご提供させていただけるよう、日々研鑽し、全力で指導させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

学進会

中学③年生



五校進学希望者

東西南北・北陽台・西陵などの進学公立及び私立進学第一志望の中3対象

目標 8月22・23日実施長崎県一斉模試で、偏差値60以上、県内順位400位以内を目指す。

長崎工業・商業などの実業高校進学希望者

長工・長商・諫商・諫農・大工・明誠・南山・海星・純心・日大など、公立・私立第一志望の中3対象

目標 8月22・23日実施長崎県一斉模試で、偏差値45以上、県内順位1400位以内を目指す。

全24日間、150時間以上。英・数・理・社はクラス授業。国語は毎日必ず大門一題を解きます。まずは活字に慣れ、時間を図って解くことで、答えを本文から探して解くことを覚えます。多くの文章を読むと、語彙力や接続詞の使い方も身につく。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

最後は**鬼**の6時間目！

夏の**基礎事項徹底**これが、成績の頭打ちを打破する**最善の方法**

『国語特訓』の後に続く、理・社の一問一答、英単語テスト、計算テスト、長文読解提出。時間が来たら帰る？NO!! すべて終わったら帰れるんだ。時間内に終わらない生徒は鬼の6時間目に突入だ！5時間目でしっかり完了して帰宅することを目指せ！

① 英単語 **1000** 語 暗記

50問×20回 入試必須の英単語の意味を1000語暗記

50問、毎回全問正解するまで帰れません!!!

② 計算 **400** 問 徹底マスター

20問×20回 入試必須の計算基礎問題を400問。

20問すべて全問正解するまで帰れません!!!

③ 理科一問一答 **600** 問 完全暗記

30問×20回 入試必須の重要用語を600問。

30問すべて暗記するまで帰れません!!!

④ 社会一問一答 **600** 問 完全暗記

30問×20回 入試必須の重要語句を600問。

30問すべて暗記するまで帰れません!!!

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

英語

単元は2コース同じ。五校進学コースは夏期テキストを使用して解説と演習。長文問題や、英作文など実際の入試形式・模擬試験形式の問題を解き、偏差値60以上を目指す。公立進学コースは、まずは文法事項をしっかりと覚えなおして、英語の基礎学力を身に付けて偏差値40以上を目指す。

両方とも夏期テキストを使用しでの指導ですが、扱う問題や確認テストのやり方や種類などは各コースに合わせて指導します。英語が得意な生徒は長文をガンガン読んで実力テストで過去最高をめざし、英語が苦手な生徒はとにかくまず文法を1年生の最初から叩き込みなおしです。

講座回数	単元名
第1講座	動詞1
第2講座	動詞2
第3講座	助動詞1
第4講座	助動詞2
第5講座	現在完了(完了、経験)1
第6講座	現在完了(完了、経験)2
第7講座	現在完了(継続)、現在完了進行形1
第8講座	現在完了(継続)、現在完了進行形2
第9講座	比較1
第10講座	比較2
第11講座	基本文型
第12講座	受動態1
第13講座	受動態2
第14講座	接続詞1
第15講座	接続詞2
第16講座	不定詞(基本3用法)1
第17講座	不定詞(基本3用法)2
第18講座	不定詞(いろいろな表現、原形不定詞)1
第19講座	不定詞(いろいろな表現、原形不定詞)2
第20講座	動名詞1
第21講座	動名詞2

この他に、長文読解の宿題、基礎演習で実施する英単語テスト。残り5講座は、1講座は模試。残りの4講座は実力テスト対策及び学校の宿題のチェックに当てます。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

理科

単元は2コース同じ。五校進学コースは夏期テキストを使用して解説と演習。グラフや図の読み取り、実験、記述など実際の入試形式・模擬試験の問題を解き、偏差値60以上を目指す。公立進学コースは、超速フラッシュを使用して、基礎事項の暗記と基礎問題の演習を行う。1年からの全範囲の復習をして思い出す。

講座回数	理科		
	大単元	小単元	備考
第1講座	中1化学	有機物・無機物・金属・気体	
第2講座	中1化学	状態変化・水溶液	
第3講座	中2化学	化学式・化学反応式	
第4講座	中2化学	分解・化合・還元	
第5講座	中3化学(物理)	イオンと電気分解	※駅前校は運動
第6講座	中3化学(物理)	イオンと化学電池	※駅前校はエネルギー
第7講座	中1生物	花・葉・茎・根	
第8講座	中1生物	植物の実験	
第9講座	中2生物	消化系・排出系・呼吸系	
第10講座	中2生物	循環系・神経系	
第11講座	中1地学	火山・地層	
第12講座	中1地学	地震	
第13講座	中2地学	天気1	
第14講座	中2地学	天気2	
第15講座	中1物理	光・音	
第16講座	中1物理	力・圧力	
第17講座	中2物理	電流1	
第18講座	中2物理	電流2	
第19講座	中2物理	磁界1	
第20講座	中2物理	磁界2	
第21講座	まとめ	過去問	

残り5講座については英語と同じ。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

社会

2コース合同授業。超速フラッシュを利用する。最初の超速の部分はモニターに映される授業を見ながら勉強するので、先生が書く時間・子供たちが書く時間・はたまた注意する時間などが大幅に削減され、歴史の流れや因果関係。地理のまとめなどを最短の時間で頭に入れることができる。その後、フラッシュの部分で映像を見ながら声に出して言うことで記憶に留めていく。最後にペーパーテストで出力の練習をして定着させる。鬼の6時間目では少し遅れて一問一答を覚えていくので、忘れそうになったら覚える=効率よく定着するの良いサイクルを生み出せる。

	社会	
講座回数	大単元	小単元
第1講座	中1歴史	先史・古代
第2講座	中1歴史	飛鳥時代・奈良時代
第3講座	中1歴史	平安時代・鎌倉時代
第4講座	中2歴史	室町時代・安土桃山時代
第5講座	中2歴史	江戸時代 前期
第6講座	中2歴史	江戸時代 後期
第7講座	中2歴史	明治時代 前期
第8講座	中3歴史	明治時代 後期
第9講座	中3歴史	大正時代
第10講座	中3歴史	昭和時代 前期
第11講座	中3歴史	昭和時代 後期
第12講座	中1地理	世界地理の基礎
第13講座	中1地理	世界の気候と宗教
第14講座	中1地理	アジア州・オセアニア州
第15講座	中1地理	ヨーロッパ州・アフリカ州
第16講座	中1地理	北アメリカ州・南アメリカ州
第17講座	中2地理	日本の位置と領域・時差の計算
第18講座	中2地理	日本の山地・海岸・平野・川
第19講座	中2地理	日本の気候・人口・資源・産業
第20講座	中2地理	都道府県(西日本)
第21講座	中2地理	都道府県(東日本)

残り5講座については英語と同じ。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

数学

五校進学コースは実力テストの過去問を使ってより実践的な演習と授業。過去問は必ず宿題で解いてこないとい時間解説を聞くだけになってしまってもったいない。絶対偏差値60以上をとるという高い意識が必要となる授業だが、最後までしっかりやれば完全なテスト演習に近いので効果は抜群。公立進学コースは夏期テキストを使用して1年の最初の単元から計画的にやりなおし。偏差値40以上をとるためにはまず、計算と基礎問題。同じ問題集を2冊用意し、1冊は授業で使用し、授業で解けなかったところをもう1冊にしろしをつけて解きなおしていく。鬼の6時間目の計算練習と授業で充分平均点（偏差値50）以上を目指すことも可能。

講座回数	五校進学コース		公立進学コース	
	授業	宿題	授業	宿題
第1講座	二次方程式第1回	過去問予習	1・2年の計算	やり直し
第2講座	過去問①	やり直し	方程式①	やり直し
第3講座	二次方程式第2回	過去問予習	方程式②	やり直し
第4講座	過去問②	やり直し	グラフ①	やり直し
第5講座	一次関数	過去問予習	グラフ②	やり直し
第6講座	過去問③	やり直し・過去問予習	グラフ③	やり直し
第7講座	過去問④	やり直し	図形①	やり直し
第8講座	作図・空間図形	過去問予習	図形②	やり直し
第9講座	過去問⑤	やり直し	図形③	やり直し
第10講座	空間図形	過去問予習	証明①	やり直し
第11講座	過去問⑥	やり直し	証明②	やり直し
第12講座	証明演習第1回	過去問予習	証明③	やり直し
第13講座	過去問⑦	やり直し・過去問予習	データと確率①	やり直し
第14講座	過去問⑧	やり直し	データと確率②	やり直し
第15講座	証明演習第2回	過去問予習	式の計算	やり直し
第16講座	過去問⑨	やり直し	因数分解	やり直し
第17講座	資料の整理	過去問予習	その利用	やり直し
第18講座	過去問⑩	やり直し	平方根①	やり直し
第19講座	実力テスト対策		平方根②	やり直し
第20講座	実力テスト対策		過去問①	やり直し
第21講座	実力テスト対策		過去問②	やり直し

残り5講座については英語と同じ。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

国語

「どうやって正解を導くかがわからない。」「何を聞かれているのかわからない。」「どんなふうに答えていいかわからない。」そして最後には「わけがわからない。」子供たちのわけがわからないは周りの人を黙らせる無敵の武器です。わけがわからないから→自分で勉強できない→だから国語はやらない。このループを何年にもわたり、何十回もいや、何百回も聞いてきました。時間があれば、とにかく多くの文章を読むことで国語は語彙力も読解力もつきます。それを何とか促したく学進会では毎時間国語の宿題プリントが出るのですが・・・。中3のこの時期になってもこのループを繰り返す生徒のなんと多いことか。それだけ今の中学生の活字離れが進んでいるということです。しかし、もう夏です。そんなループを断ち切る必要があります。そこで、夏期講座は問題の解説や解説プリントの配布など、どうやって正解を導くか。本文の中からどうやって正解を探し出すか。答え方の基本などを解説していきます。夏が終わったら、「どうやったら正解を導けるかわかるようになった。」そう言ってもらえるように全力で解説します。

講座回数	
第1講座	論説文ハウツー授業
第2講座	論説①
第3講座	論説②
第4講座	論説③
第5講座	論説④
第6講座	論説⑤
第7講座	論説⑥
第8講座	小説 ハウツー授業
第9講座	小説①
第10講座	小説②
第11講座	小説③
第12講座	小説④
第13講座	小説⑤
第14講座	小説⑥
第15講座	古文 ハウツー授業
第16講座	古文①
第17講座	古文②
第18講座	古文③
第19講座	古文④
第20講座	総合問題 大問1
第21講座	総合問題 大問2・3

残り5講座については英語と同じ。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

夏にこんなに勉強しても実力テストの点数が上がらない

夏期講座の一つの成果は、8月末に実施される中学校の実力テストで試されます。鬼のように基礎学力を磨いた当会の生徒たちの成績は必ず全員上がるか？この質問の答えは、否です。えっ、じゃあ何のために高いお金払って時間までかけて勉強したの？上がらないなら、預ける意味ないでしょう。子どもたちもそうで、あんなに頑張って勉強したのに実力テストで点数がとれないと、意味ないやんと、不満を爆発させる生徒もいます。実はそれにはからくりがあるのです。

基礎学力は家づくりにおける土台です。土台のしっかりしていない家づくりがうまくいかないように、基礎学力が身についていないのに応用問題の練習をしても、一時的な学力向上にしかならず、12月に成績が頭打ちしてしまいます。逆に土台がしっかりしていればどんな家でも見事に建ちます。受験の土台をしっかりと作るため“夏は基礎作りだ”という信念のもとに指導をしております。

成績が上がる生徒は、ある程度の土台がある、基礎力がすでに身に付いている生徒（定期テストで400点以上）です。土台が強固で確実なものになるので、夏期講座の授業で取り組む応用問題や過去問演習で大きな効果が得られます。実力テストの成績も向上します。

次に上がるのは、もともと基礎学力がほとんど身につけていなかった生徒（定期テストで200点未満）も成績は向上します。実力テストと言っても3～4割くらいの内容が基礎問題だからです。基礎学力は鍛えますので、今まで出来なかった基礎問題が解けます。当然点数は上がります。

そして、成績がなかなか伸びない生徒は、今まで基礎問題はまあまあできていたけど応用問題は今一つという、定期テストで250～350点くらいの生徒です。基礎事項を覚えると、覚えた量に比例して考察力も必要となりますが、その力が不十分のため、夏に覚えた多くの情報に翻弄されることとなります。こんがらがるというやつです。実力テストの結果が満足いかない生徒がほとんど、この層になります。しかし、ご安心ください。夏の土台作りは学進会で万全に行います。そして、受験本番はまだ6ヶ月以上先です。夏に定着した基礎事項をもとに、2学期の受験対策講座でしっかりと考える力を身に付ければ、ライバルたちから必ず頭一つ抜け出せます。合格が一気に確実なものとなります！

2学期は、授業時間を確保する為に土曜講座も始まります。週の、通塾日も増えます。当然、個別課題などの宿題も増えていきます。同時進行で、3年生の履修範囲の完了も急務になります。

子どもたちも同じ不安を抱えてもらっては困るので部活動に例えて、夏の最初に必ず話をします。学進会の鬼の6時間目は走り込みとか筋トレだと。でも、筋トレと走り込みだけして、試合には勝てないよな？でも、それをしないと強くなるだろ？と。もし、9月の実力テストで点数が思ったより取れなくても安心していい。受験に向けて夏期講座が終わったら全員、フィジカルは間違いなく強くなる。そして、そこからテクニックを磨いて行ったらどうなる？めっちゃくちゃ強くなる？とそれが2学期。だから、土曜日はがっつり塾ぞ。テクニックを鍛えていくよ！そして12月から本格始動する受験講座で周りをぶち抜くよ、と。

もし実力テストの結果が思いのほか悪くても安心してください。夏期講座では確実に基礎学力が身に付きます。鬼の6時間と称して授業の最後に基礎練習の時間を組んでいます。時間が来たら終わりでは基礎学力はいつまでたっても身に付きません。3年生は全員その日決められたところまで完全に習得してから帰宅してもらいます。夏に基礎学力を身につけなければ受験に勝利はないと確信して、精一杯指導いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(株) M&M 代表取締役社長 野澤 広海